

7月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
キャベツ類		14,760	103	15,570	84	98	72	-	-	群馬、岩手、茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬は低温のため生育が遅れ気味だが、中旬からはまとまった量の入荷が見込まれる。作柄は良好。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。
だいこん		8,799	90	9,267	90	103	78	2	0.0	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道は播種から定植時の天候不順のため生育が遅れ、入荷は前年の2～3割減。青森は、若干の入荷減。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
トマト		8,292	100	8,399	282	102	267	281	3.4	青森、茨城、栃木産中心の入荷となる。青森は春先の低温の遅れが回復し平年並みの入荷見込み。茨城は平年より若干生育が遅れている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。
きゅうり		8,135	97	7,706	204	100	230	294	3.6	福島、岩手、秋田、山形産中心の東北産が市況をリードする。東北産は春先の低温と震災の影響で全体に生育は遅れており、入荷はずれ込む。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。
はくさい		6,024	100	6,203	59	102	60	-	-	長野産中心の入荷で全体の約9割を占める。長野は梅雨期で曇天続きだが、作柄への影響は見られず概ね順調。肥料の効きも良く大玉傾向。作付けは横ばいで入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。
にんじん		5,514	110	6,212	181	70	144	-	-	青森、千葉、北海道産中心の入荷で全体の約9割を占める。青森は播種時の降雨と震災の影響で作業が遅れたが、現在は平年並みに回復し作柄は順調。全体の入荷量は前年よりかなり上回り、価格は前年を大幅に下回るが平年並みの見込み。
ねぎ		3,902	110	4,060	337	90	310	3	-	茨城、千葉、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。茨城は例年より10日程度の生育遅れだが作柄は順調。全体の出荷量は高温と干ばつのため入荷が少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
えだまめ		2,075	98	1,857	621	105	695	23	1.1	群馬、埼玉、千葉産が中心となる。群馬は極早生品種が定植時の天候不順のためやや不作気味だが、早生品種は昼夜の温度差と適度の降雨もあり作柄は順調。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。